東吾妻町第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（東吾妻町デジタル田園都市構想総合戦略）（案）に対する

パブリックコメントの実施結果について

- 1 意見募集期間
令和7年2月12日（水）～ 令和7年2月25日（火）
- 2 周知方法
 - (1) 町ホームページ
 - (2) 企画課窓口
 - (3) 支所・出張所窓口
- 3 意見提出者数
1人
- 4 意見の概要と町の考え方

意見の概要	町の考え方	計画内の施策項目等
<p>人口の減少は、想定しているより早く悪化する可能性も十分に考えられる状況ではないかと思えます。小さい子供がいますが、子供が少ないなと感じたり、この子たちが住む場所はどこになるのだろうと不安の部分も多く見ているのが現状です。何十年後を見越すと、すでに始まっているかもしれない社会インフラ崩壊への負のスパイラルの脱却のためにも、迅速に、優先順位を高く人口の維持または増加に向けたアクションプラン・チャレンジを望みます。</p> <p>坂上地区で酪農を営む農業者の目から見ると、資源となる土地、景観、技術、体制等、農業を基軸とした地域社会への貢献には潜在的な余力を残しているのではと感じます。近年、食や農、働き方などへの関心は高まっていると感じますし、農業はSDGsとも親和性が高く地域の発展のためにも「有効に利用」していただきたいと個人的には思っています。</p> <p>近年農業も多様化してきました。都市から遠くない環境、生業として成り立ち、魅力を感じられる農業を地域として後押しできれば、町に魅力を感じ、住み、子育てができ、また町の一員としてまちづくりに貢献できるサイクルができるのではないのでしょうか。</p> <p>移住希望地1位は群馬県（2月25日上毛新聞・農業新聞）とのこと。東吾妻町・事業者・住民が連携し総力を挙げてどれだけアイデアを出し本気でつかみにいけるかだと思います。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>本町の人口や年代構成の推移と将来展望について把握に努め（5・6ページ等に掲載）、そのような状況の中にあっても持続可能なまちをつくるための施策を、より効果的な取組で進めるためのアクションプランを本総合戦略に盛り込みました。</p> <p>具体的には「⑩公営住宅等長寿命化計画推進・宅地分譲地造成販売事業」（46ページ）、「⑯持続可能な公共交通ネットワーク構築事業」（47ページ）などの社会基盤整備の事業や、「⑥ひがしあがつま森林創生プロジェクト事業」「⑦新規就農支援事業」（45ページ）などの農業を基軸とした産業振興の事業を含む20の事業を、3か年の期間で優先的に取り組む事業と位置づけています。</p> <p>また、これらの事業の着実な推進に向け、関係機関との連携を強化するとともに、役場内だけでなく、町民による組織「ひがしあがつま創生会議」を活用しながら、PDCAサイクルによる進行管理を行うこととしています。</p> <p>町民のまちづくりへの関与意向（22ページ）、関係団体・事業者のまちづくりへの関与意向（24ページ）がともに高い結果が出ており、ご指摘のとおり、行政、事業者、住民、町外の人達など、多様な人材が連携し、取り組むことが必要と考えています。具体的には、「⑤ひがしあがつま雇用対策プロジェクト事業」にて、進めていきたいと考えています。</p> <p>いただいた意見も参考にさせていただき、第5章進行管理、5-1推進体制（49ページ）を一部修正しました。</p> <p>本総合戦略の推進にあたって、今後ともご協力をいただけますようお願いいたします。</p>	<p>全体</p>